

就労支援が切り開く「共生型就労・雇用」の推進において 就労相談者も支援者も地域を超えて “つながる” ひろさきワーク・チャレンジ

◆相談者の「キャリアを開く」チャレンジを応援

「離職期間が長い」「転職が多くなった…」「学校卒業後の職業経験が少ない…」など、就労を希望しながら通常の職業紹介ではうまく『キャリアを開く』ことが難しい人が増えています。こうした状態が長引くことで、孤立や生活困窮のリスクは高くなります。国は新たに生活困窮者自立支援制度をつくり、こうした通常の求人情報や面接等では採用にいたらない就労相談者に対し、実際の就業現場で「訓練付き就労」などを通じて、安心してそれぞれの『キャリアを開く』支援をはじめています。言い換えれば、地域特性を活かして多様な人材が活躍できる『共生型就労・雇用』を推進する取組みです。

今回『大阪・泉佐野市の相談支援』と『弘前の相談支援（ワーク・チャレンジプログラム）』が連携し、キャリアを開くチャンス、選択肢を増やすことになりました。具体的には弘前での『訓練付き就労』体験に大阪から就労相談者が参加します。相談者も支援者も地域を超えてつながり、相談者のキャリアを開く挑戦を応援します。

◆就労相談支援の拡充にむけて！ 「ひろさきワーク・チャレンジプログラム」を策定します

弘前市は『生産量日本一のりんご』をはじめとする農業資源にめぐまれ、『30万人都市圏』で多様な経済活動があります。その一方、人材不足も目立ちつつあり、『しごとと人材のミスマッチ＝就労のミスマッチ』も増えています。ここで問われているのは、これまでにない就労支援、人材確保・育成の新たな取り組みです。

「ひろさきワーク・チャレンジプログラム」では、障がい者や中高年、ひとり親、若者などへの支援で取り組まれてきた就労支援（生活支援と一体となった）の成果と課題を踏まえ、「①多様な就労ニーズに対応した相談支援の地域基盤の強化」「②地域の経済活動と連携した『訓練付き就労』などの就労支援メニュー開発」に取り組む予定です。

つきましては「ひろさきワーク・チャレンジプログラム」に関して、下記のとおりテーマ別に検討や議論を深めていきますので、関係機関・団体等のみなさまにぜひ参加いただきたく、ご案内申し上げます。

●ひろさきワーク・チャレンジプログラムに関する研究・研修会

第1クール：自治体と就労支援 1月28日(木)～29日(金)

【事業概要説明】【他地域の様々な就労支援の実践から学ぶ】

第2クール：障がい者が現場を変える 2月19日(金)

【農業と障がい者・農福連携のカタチ】【少しの配慮で生まれる働きやすい職場】

第3クール：企業の潜在力が活かされる仕組みづくり 2月25日(木)

【企業の潜在力が活かされる仕組みづくり：大阪編・札幌編】

第4クール：キャリアを開く「働く場」づくり 3月7日(月)

【女性や若者の「働く場」づくりの実践から学ぶ】

■各クールとも会場は「弘前商工会議所(弘前市上鞆師町18-1)」を予定しています。

※この事業は、平成27年度地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用して実施しています。

※これらの検討作業（研究・研修会ほか）は、弘前市における地方創生の取り組みの1つとして、泉佐野アグリカレッジ共同企業体が受託しています。

第4クール キャリアを開く「働く場」づくり 3月7日(月)【弘前商工会議所 301室】

概要：女性・若者を地域の戦力として伸ばす実践から学ぶ

人材不足が顕在化する飲食業や農業の「働く場」としての可能性を知る

対象：自治体関係者ならびに就労支援に携わる方、企業・社会福祉法人等の人事担当者

定員：50名

会場：弘前商工会議所 301室（弘前市上鞆師町18-1）

◎当日の流れ【3月7日(月)】

- 9：30～ 受付
- 10：00～ 報告：女性の「働く場」づくり ～多くの女性が「働ける場」とは～
情報の輪サービス(株) 代表取締役 佐々木 妙月 氏
- 11：00～ 事例紹介：弘前商工会議所青年部の新たな取り組み ～ひとり親を地域の戦力に～
弘前商工会議所青年部 直前会長 一戸 勝美 氏
- 11：30～ 質疑応答
- 12：00 終了
- 13：00～ 報告：若者の「働く場」づくり ～サポステ運営からしごとづくりへ～
NPO法人おおさか若者就労支援機構 理事 太田 光昭 氏
- 14：00～ 意見交換
- 15：00 終了

◎講師略歴

佐々木 妙月	太田 光昭
スポーツインストラクターから総合商社へと180度の転職。人事部・貿易部・企画広報部・生産管理部・経理部・営業部と全部署を経験。その後、求職活動50回。ことごとく落ちるという体験を活かし、27才会社を設立し、女性の「働く場づくり」に日々奮闘中。 豊中市においてひとり親の働く場として、銀座食堂・ギャラリーカフェぐるりなどを展開。	若者の就労問題に2000年から関わり、調査などを通じた若者の意識を知るなかで、ニート状態にある若者は「働きたくない」ではなく、「働きたいけど働けない」であり、背景に教育や労働等の「社会問題」があることを認識し、若者支援NPOの立ち上げから参画。 現在は一般就労・公共事業だけではなく、第三の働く場づくりにも取り組む。

◎申込方法

参加をご希望の方は下欄にご記入のうえFAXいただくか、『ワーク・チャレンジプログラムひろさき』の申込サイト (<http://www.adash.or.jp/hirosakiwcp>) からお申し込みください。

FAX 06-6562-1549 (お問い合わせ:担当:田岡:電話 06-6562-0410・メール hirosakiwcp@gmail.com)

お名前	所属	連絡先(TEL・メール)